

朝日新聞信用組合 SDGs 宣言

当組合は、大正11年(1922年)の創立以来、朝日新聞グループで働く組合員の皆さまに寄り添った金融サービスの提供を通じ、生活向上や経済的発展の寄与に努めてまいりました。相互扶助の精神にもとづく取り組みは、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)と理念を同じくするものであると考えています。

これからも組合員の皆さまから愛される職域の金融機関を目指し、朝日新聞グループで働く組合員の皆さまの発展を通じて、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

令和3年12月9日
朝日新聞信用組合
理事長 田畑 良治



●SDGs とは●

「持続的な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。

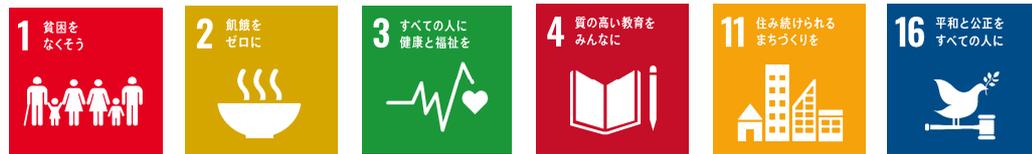
社会が抱える問題を解決し、世界全体で 2030 年をめざして明るい未来を作るための 17 のゴールと 169 のターゲットで構成されています。2015 年 9 月、ニューヨーク国連本部において 193 の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。

1. 経済活性化のための取り組み



- 新型コロナウイルス感染症拡大に対する積極的な金融支援
- 生活基盤の安定と経済的地位の向上
- ライフステージにおける最適な資金計画のサポート
- 信用組合業界との連携

2. 社会貢献のための取り組み



- しんくみピーターパンカードに基づく寄付金の贈呈
- マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策
- 多重債務者向けおまとめローンの取り組み
- 高齢者向け金融サービス提供(年金プレミアム預金)
- 特殊詐欺、振り込め詐欺被害の未然防止
- 学資ローンの提供

3. 環境保全のための取り組み



- クールビズの実施
- LED 照明導入による省電力化
- ペーパーレス化の推進
- カーボンオフセット通帳の導入
- 環境(エコ)に配慮した融資商品の提供、金利優遇
- ESG(グリーンボンド、サステナビリティボンド)投資
- BCP(業務継続計画)の運用による災害、感染症への対策

4. 人材育成の取り組み



- 自己啓発の支援(資格取得奨励制度の実施)
- 働き方改革、ワークライフバランスの充実・推進
- 女性職員の活躍推進
- 各種就業支援制度の整備(育児休業等)

以上

